

単位数	教科担当者	使用教科書・補助教材・その他
2	真柴 晶彦	使用教科書「世界史A」 (東京書籍)
必履修 学校必履修 ○必修選択 自由選択		補助教材 「グローバルワイド 最新世界史図表」 (第一学習社)  「新しい世界史B チェック&チャレンジ」 (山川出版社)

## ◆学習の目標

- ・世界の歴史を総合的に理解させ、歴史的な見方・考え方を育て、国際社会に主体的に生きる公民としての資質を養う。
- ・各地域世界の成立過程について深く学習してその特徴を知り、現代の各地域や諸国の歴史的・文化的背景を理解させることを重要な目標とする。
- ・大学への進路実現を目指し、受験に対応できる学力を培う。

## ◆主な学習内容・方法

- (1) 教科書第14章～
- (2) 教科書を中心教材として、随時副教材を使用しながら近現代史を、主として講義形式で学習する。

## ◆到達目標と評価の観点

- [標準]
- ・20世紀以降の世界の歴史的諸事象の内容を正確に理解し、時系列上での的確に把握する。
  - ・事象の内容や事象間の因果関係を的確・簡潔に表現する。
- [応用]
- ・現代世界の特質や諸課題を、歴史的観点から史料を活用して考察し、表現する。
- [評価の観点]
- 「知識・理解」「資(史)料活用力・的確で簡潔な表現力」「思考力・判断力」を評価する。

## ◆評価の方法

- ・評価は定期考査の結果を中心とし、校内学力テスト、課題等の提出物、毎回の授業に対する意欲、歴史に対する興味・関心等を加味する。

## ◆年間予定授業時間

予定時数	70時間	1学期 (26時間)	2学期 ( 28時間)	3学期 ( 16時間)
------	------	------------	-------------	-------------

◆学習のしかた（予習・復習・宿題・課題・その他）

予習…教科書を事前に通読する。教材プリントを行う。  
 復習…板書ノートと教科書・「最新世界史図表」等に関連させて、整理する。  
 課題…演習プリントを適時行う。  
 その他…補習や夏季補習も授業に関連させて、活用することを勧める。

◆授業計画

学期	月	単元・教材等	単元 ごとの 時間数	学習の内容	学習到達目標
1 学期	4	第14章 二つの世界大戦	6	第一次世界大戦 ロシア革命	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第一次世界大戦の過程とその歴史的意義を理解できる。</li> <li>・ロシア革命の現代的意味を理解できる。</li> <li>・ベルサイユ体制の諸相と歴史的意義を説明できる。</li> <li>・戦間期のアジア・アフリカでの民族運動勃興の背景を説明できる。</li> <li>・世界恐慌をもたらした要因とファシズム勢力の台頭について理解できる。</li> <li>・第二次世界大戦の過程とその歴史的意義を理解できる。</li> </ul>
	5	第一次世界大戦 戦間期	6	ベルサイユ体制下の欧米諸国 アジア・アフリカ地域の民族運動	
	6	第二次世界大戦	8	世界恐慌とファシズム諸国の侵略	
	7		6	第二次世界大戦	
2 学期	8	第15章 冷戦と第三世界の独立	10	戦後世界秩序の形成 アジア諸地域の独立	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戦後世界秩序の形成について表現できる。</li> <li>・米ソ冷戦の激化の過程を理解できる。</li> <li>・戦後経済の復興の過程を地域別に理解できる。</li> <li>・第三世界の台頭の歴史意義を説明できる。</li> <li>・デタントの背景を説明できる。</li> <li>・石油危機と多極化の時代を説明できる。</li> <li>・現代の諸課題について多面的・多角的に理解し、表現できる。</li> </ul>
	9	戦後世界秩序の形成		米ソ冷戦の激化 西欧・日本の経済復興	
	10	冷戦の激化	10	第三世界の台頭	
	11	第三世界の台頭 世界経済の再編		米ソの歩み寄り 石油危機 世界経済の再編	
	12	第16章 現在の世界	8	現代世界史の課題	
3 学期	1	地域史演習	16	世界各地域を古代か現代まで整理し、大学入試問題演習に取り組む。	世界各地域史の大学入試問題を解き、論述問題などを多面的、多角的に表現できる。
	2				
	3				